横浜市立矢部小学校　　令和８年度　豊かな心の育成推進プラン

１　中期学校経営方針

（１）中期取組目標

中 期 取 組 目 標
【人とのつながりを大切にしながら、安全・人権・学習を軸にした、安心して学べる学校にします】 〇子どもたちに身につけさせたい資質を明確にした、意図的計画的な教育活動を推進します。 〇子どもたちの現状を把握し、３つのプロジェクトで取組を進め、子どもたちの成長を育みます。 〇授業研究を通して、子どもたちの成長を育むとともに、教員の授業力向上を図ります。 令和８年度研究主題【「ふれあう　ためす　つくりだす　やべっ子」の実現に向けて】 ～主体的に学び合い、学びを実感できる授業づくり～

（２）「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具 体 的 取 組
豊かな心		①　関わりのある人へあいさつをしようとする実践意欲を高める。 ②　自己有用感・自己肯定感を高めるために実行委員活動の充実を図る。 ③　全教育活動を通した道徳教育の充実を図る。
担当	心の育成プロジェクト	

２　児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校の児童は目的に向かってがんばる力があり、学校行事を通して大きな成長が見られる。たてわり活動やペア活動を通して、下級生に優しく接する姿や、交流を楽しむ姿が見られる。友達同士では、仲良く遊び、励まし合ったり協力したりする姿が見られる。一方で、日常生活においてあいさつをしあう姿が少なく、誰にでも進んであいさつをしようという心情を育んでいく必要がある。また、学力は市の平均をこえているものの、生活意識や学習意識が低く、自分のがんばりに自信がない児童が多く、自己肯定感や自己有用感を高めていく必要がある。

３　「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【①あいさつをしようとする実践意欲】
・児童会活動の年間スローガンを掲げ、各委員会活動からあいさつを推進する活動を行っていく。
・友達、先生、保護者、ボランティア、見守りパトロールの方、などあいさつをする相手をはっきりと伝え、あいさつや感謝を伝える大切さを日々指導していく。

【②自己有用感・自己肯定感を高める活動】
・各学年の行事などに向けて実行委員活動を行い、準備や当日の活動の中で、自分らしさを発揮する表現力、最後までやり通す力を育てる。
・一年間を通して、全員が一人一役の実行委員活動ができるよう見通しをもった計画を立てる。

【③全教育活動を通した道徳教育】
・たてわり活動やペア活動を行い、下級生から頼りにされる体験を積み重ねて、思いやりや責任感を育てる。
・毎月の生活目標を示し、各クラスの実態に応じて目標に対する取り組みを実践していく。
・各行事、各教科の授業など様々な場面で、物事を多面的・多角的に考えることを通して、自分や友達のよさやがんばりについて認め合えるようにしていく。